

ALAMCOハリス グローバル バリュー株ファンド 2007 (適格機関投資家専用)

ありがとう投信
Ariгато Asset Management Inc

※弊社が組入れているファンドの中で、マーケットコメント等の提供があるものについて、直近の内容を掲載しております。

運用:朝日ライフ アセットマネジメント株式会社 <http://www.alamco.co.jp/>
基準日:2010年6月30日

マザーファンド株式組入上位5銘柄 (組入れ銘柄は2010/6/30現在)

	銘柄	国	業種	構成比率
1	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	6.1%
2	BANK OF NEW YORK MELLON CORP	アメリカ	各種金融	3.4%
3	APPLIED MATERIALS	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.4%
4	JULIUS BAER GROUP LTD	スイス	各種金融	3.4%
5	SAP AG	ドイツ	ソフトウェア・サービス	3.3%

※ 構成比は、現物株式ポートフォリオに占める比率です。

<運用概況>

6月の米国株式市場は、初旬に一旦上昇したものの、東欧のハンガリーの政府高官がデフォルト(債務不履行)の可能性を示唆したことから欧州債務危機が拡大しているとの懸念が広がるとともに、5月の雇用統計が景気回復の鈍さを示唆する内容であったことから急落しました。しかし、中国の輸出入額が大幅増となったことなど、景気のダウンサイドリスクを和らげる好材料が散見されたことから反発し、その後もスペイン国債入札が好調であったことから、深刻な財政危機の広がりに対する懸念が緩和されて概ね堅調に推移しました。下旬に入り、発表された中古住宅販売件数は予想を下回り、新築住宅販売件数は過去最低値を記録するなど、予想に反するマクロ指標により世界景気回復に懸念が生じて大幅に下落しました。結局、前月末比、大幅下落となりました。その他の市場も概ね米国市場の動きに追随する展開となりました。為替市場では、対ドル、対ユーロともに円高の展開となりました。

円ベースの参考指数が▲6.2%の下落となる中、当ファンドの基準価額は▲4.9%の下落となりました。カーニバル・コーポレーション(アメリカ、消費者サービス)、インテル(アメリカ、半導体・半導体製造装置)などの価格下落が基準価額にマイナスに寄与しました。

以上